



国体に備えて完成したカヌー艇庫

＝湧水町恒次

湧水 カヌー艇庫完成

「日本一の環境」整う

湧水町が鹿児島国体のカヌースラロームなどの会場となる「川内川轟の瀬」の特設競技場に整備していた艇庫が完成した。関係者は国体での県勢躍進と合宿誘致による地域活性化へ決意を新たにしている。

合宿誘致へ弾み

艇庫は川内川のほとりにあり、川岸まで10万円。

分も掛からないのが利点。鉄骨平屋210平方メートルで約60艇を収納でき、会議室やシャワー更衣室、トイレを備え

協会は11、12の両日、国体へ向けた合宿を行い、10人が川の流れを確認しながらパドルを操った。

全国の競技場を知るスラローム・ワイルドウォーター部長の神田橋貴子さん(51)は「艇を車に積んで持ち帰る手間が省け、練習時間を長く取れる。日本一の環境」と喜ぶ。

「利便性がよく、合宿誘致に弾みが付く」と期待する。

艇庫は1日から利用されている。県カヌー

利用の際は事前申請が必要。栗野中央公民館(0995)74-4313。(浦牛原健)

